

地域とともに学校を創る



～気高地域学校統合準備委員会だより～

気高地域学校統合準備委員会が発足しました

気高地区の4小学校の教育を考える会の要望を受けて、昨年12月22日に以下のような内容が鳥取市教育委員会において決定となりました。

- 1 逢坂小学校、宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校の4校は、気高地域の中長期的な姿を見据え、1つの学校として新設統合する。
- 2 新設の時期、新設校の位置、教育理念、教育環境整備、学校名、校歌等については、関係する学校および地域の関係者で構成する会議を令和2年度内を目安に立ち上げ、検討する。教育委員会はその検討結果を尊重することとする。
- 3 上記組織においては、この地域での中長期的な児童生徒数の減少の状況を踏まえ、小中一貫型の学校の設置についても選択肢の一部として検討する。
- 4 上記組織はこの地域周辺の中長期的な児童生徒数の減少の状況を踏まえ、必要に応じて同一ブロック内の中学校区との情報交換及び協議も行う。

この決定を受けて、4つの地区の代表及び学校関係者からなる「気高地域学校統合準備委員会」が発足しました。将来の学校のあり方は、まちづくりにも直結します。議論の様子を知っていただくために、準備委員会では会議後に、この「地域とともに学校を創る～気高地域学校統合準備委員会だより～」を発行していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



第1回気高地域学校統合準備委員会の様子

委員長あいさつ

逢坂地区代表の久野壯です。この度、気高地域学校統合準備委員会の委員長に選任されました。逢坂地区では、平成26年に統合に関する要望を提出し、ようやく今回の準備委員会発足の運びとなりました。気高地区でも少子化の進行は待ったなしとなっています。この準備委員会ではまず、「学校の位置」と「学校種（小学校4校の統合とするか、将来を見据えて小中一貫型の学校とするか）」について話し合います。気高地区全体の子どもたちのために委員の皆さんと力をあわせて協議を進めていきたいと考えます。ご意見がありましたら、お気軽に各地区代表へお伝えいただければと思います。

委員紹介（委員長：◎ 副委員長：○）

所 属	氏 名	所 属	氏 名
逢坂の教育を考える会会長	◎久野 壯	浜村小学校校長	長谷川 理恵
浜村地区まちづくり協議会会長	○湯口 史章	浜村小学校教育振興会会長	横山 圭輔
瑞穂小学校 PTA 代表	○三谷 知生	逢坂小学校校長	岡本 千鶴
宝木地区まちづくり協議会会長	米田 克彦	逢坂小学校 PTA 会長	久野 慶太
酒津地区まちづくり協議会会長	河根 裕二	気高中学校校長	池原 已途志
宝木小学校校長	田中 幸子	気高中学校 PTA 会長	井上 康範
宝木小学校 PTA 会長	上田 卓	浜村保育園園長	森村 郁子
瑞穂地区まちづくり協議会会長	塩田 則夫	浜村保育園保護者会長	小林 奨
瑞穂小学校校長	山根 啓嗣	ひかり保育園園長	伊藤 正子
ひかり保育園保護者代表	江谷 清隆		

第1回準備委員会報告

3月5日に第1回準備委員会を開催しました。第1回では、教育委員会より委員の委嘱を行い、委員長、副委員長を選出しました。その後、小中一貫型の学校とした場合のメリット、デメリットについて、教育委員会教育総務課校区審議室より説明を受けました。次回からは実際に学校の設置場所や学校種について協議に入る予定です。前回の協議の様子は一部ですが以下の番組で紹介されました。ぜひご覧ください。



基本方針4「必要に応じて同一ブロック内の中学校区との情報交換及び協議も行う」について

小学校4校のみの統合とした場合

- ☆将来的に他エリアと中学校を統合すれば・・・
- 小学校、中学校と出会う友達の広がりがある
- 適正規模が確保できる
- ▲将来的に他のエリアを含めてもう一度校区再編の可能性
- ▲かなり遠方の中学校への登校
- ☆他のエリアとの合意形成がなされなかった場合、
- 中学校が小規模化、義務教育学校を再び検討する必要性

小中一貫型の学校とした場合

- 小中一貫教育の効果が出やすい（前出①～⑥）
- 中学校の小規模化の課題が一部解消
- 将来学校種について再検討する必要性がない
- 各地区の学校に小学生、中学生が通学
- ▲人間関係の固定化、同学年の人数が増えるわけではない
- ▲他のエリアの学校種も事実上決定してしまう



▲YouTube チャンネルはこちらから

発行 : 気高地域学校統合準備委員会
 事務局 : 鳥取市教育委員会事務局校区審議室
 TEL : (0857) 30 - 8405
 E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp